



臨床の潤いとしての研究 ～世界への発信～

篠崎内科クリニック院長・自治医科大学消化器内科 篠崎 聡

1. はじめに

医師は多忙を極める日常診療の中で「成功したこと」、「失敗したこと」、「改善すべきこと」、「予測しうること」など様々なことを経験します。そうした貴重な経験を科学的に考察し、科学論文という形で発表することで世界中の患者さんに還元していくことは医師あるいは科学者として非常に重要です。しかし、多くの医師にとって現実はそんなに上手くはいきません。多忙の中、上司から言われてやっとのことで学会発表をしても、「international journal への投稿」となると時間的かつ言語的に何かと困難を伴うのが現状です。結果として、大学病院や一般病院に勤務されている多くの医師が忙しい日常診療の中では学会で発表するのが精いっぱい、素晴らしい研究をしたにもかかわらず論文にできずに『塩漬け』になっている症例報告・後方視的研究・比較研究などが数多くみられるのが現実です。



2. 論文作成のやりがいと楽しさ

医学の進歩は著しく、日々、論文や学会誌などで常に新知見を仕入れているわけですが、私は新知見を総説などから収集するだけでは物足りなくなっていました。そこで2013年頃から、大学病院・一般病院の先生方の研究を international journal に投稿する「お手伝い」を始めました。その結果、完成した論文は研究を主導した先生の業績になるばかりでなく、世界の医療に貢献することになり、私自身が多くの論文を読むことにより知識を増やし、その領域の内容を整理することができました。すなわち、論文作成のお手伝いをするということは、「自分に絶好の勉強の機会が与えられる」ということにつながることから「病みつき」になっていきました。私は英語論文を作成することや作成のお手伝いをする事自体にとってもやりがいを感じています。多くのデータから重要な情報を見出し、その理由を考察し、多くの論文を読んで書式にまとめるという作業はとても楽しいものです。その「お手伝い」の結果、2014年からの論文だけでも累積のインパクトファクター（IF）が40以上に達しました。ここで強調したいのは IF のみを追いかければいいというものではありません、論文が PubMed に掲載され、世界の医療に貢献するということが重要であり、IF がつかない Case report なども積極的にお手伝いさせていただいております。

3. 論文作成が日常診療のレベルを上げていく

私の経歴を簡単に述べさせていただきますと、2001年に秋田大学医学部医学科を卒業、

2008年に自治医科大学大学院を修了し、自治医科大学附属病院および関連病院勤務ののちに2014年より宇都宮市清原台にある篠崎内科クリニックにて地域の診療に従事しています。外来診療や年間1000件以上の消化管内視鏡・超音波検査などに積極的に取り組んでおります。

「先生はよく論文を書く時間がありますね」と言われます。クリニックで朝の外来診療が始まる前の1時間を論文作成時間にあてています。論文作成過程で得られた豊富な知識や科学的な考え方は間違いなくクリニックでの日常診療のレベルを高めることに役立っています。クリニックでは、大きな病院のようにCT/MRIなどの高価な設備があるわけでもなく、侵襲的治療や入院治療を行うことはできません。しかしながら、自分の頭を鍛え患者さんに還元していくことに高価な設備は必要ありません。外来診療および内視鏡診断においては大きな病院と同等の診療を提供し続けていきたいと考えています。

4. 謝辞

自治医科大学消化器内科学部門の非常勤講師として様々な論文作成に携わらせていただいておりますが、私一人では到底できるものではありません。ベースとなるデータを収集してくださる医局・一般病院の先生方、細部まで論文をチェックして下さる大澤博之教授、論理構成を指導して下さる山本博徳教授、英語だけでなく科学的側面もチェックして下さるAlan Lefor教授（外科学講座）に支えられて、世界中の患者さんの診断・治療に貢献する科学論文を数多く完成させることができたことに、この場を借りて深く感謝いたします。

5. 最後に

臨床医として患者さんに的確な医療を提供することに喜びを覚えることは医師冥利につきることではあります。しかし、科学者として得た知見に考察を加えて、international journalに掲載し発信することは、自身のまだ見ぬ世界中の患者さんへ貢献することになるのです。今後も「臨床の潤いとしての研究」を続けていきたいと考えております。



地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集

地域医療オープン・ラボでは、自治医大の教員や卒業生の研究活動を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介ください
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先：地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

[発行]自治医科大学大学院医学研究科
地域医療オープンラボ運営委員会

事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL 0285-58-7477/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>